



～ 京大生の思い 2008 年夏 ～

2008 年夏学期、こころの未来研究センター提供の授業として、全学向けの「こころの科学入門」という講義を行いました。センターの内田由紀子助教と平石界助教が、「文化」と「進化」という異なったアプローチから、同じテーマ（「感情」「他者理解」「言語」などなど）について講義し、吉川左紀子センター長を加えて教員3名がディスカッションするというものでした。

そんな実験的な講義の最終回、受講して下さった学生さんたちに「京大生の思い」という質問に答えていただきました。

質問は簡単。例えば自分は「運がいい」と思うかを、「はい」「いいえ」で答えてもらうだけです。全部の質問に答えたら、今度は同じ質問について、同年代の大学生の何%が“はい”と答えると思うかを答えてもらいました。

回答者はぜんぶで245人。京大生の「実際の思い」と「京大生が予測する大学生の思い」。はたして結果はいかに。講義担当教員の（無責任な？）コメント付きでご報告します。

質問	実際%	予測%	コメント
運がいい	68	44	平石：運も実力の内
モテる	7	22	内田：奥ゆかしいだけなのでしょうか、現実なのでしょうか。 平石：森見さんの小説によると、京都の女子大生は京大の男がさらっていくそうですが。 吉川：もてるかもてないか気にならなくなったとき、人はもてるようになります。
健康	83	67	吉川：学生が健康で元気に過ごせる場を用意するのが総長の役目、と尾池前総長は言われてました。8割以上が健康な京大生、良い大学です。
親切	62	54	内田：みんなそこそこ親切。
働き者	41	50	内田：学生ですからね。
長生きする	55	59	
野心がある	61	41	平石：野心家 吉川：秘めた野心をもつ若者になってほしいな、と。
恥ずかしがり屋	82	62	内田：日本人はシャイな人が多いです。 平石：でも、周りはそれほどシャイじゃないと思っている。 吉川：恥ずかしがりの気持ちに勝つことは成長の第一歩。
家族思い	67	61	内田：割と家族思い
宗教心がある	19	17	平石：やっぱり無宗教な日本人。 吉川：それでも2割の人は宗教心を感じているのですね。「何かを信じる気持ち」は多くの人のもっているかも。



質問	実際%	予測%	コメント
恋をしている	42	64	内田：半分以上かと思っていましたが。 平石：せめて半分は恋をしていて欲しい。悲恋であったとしても。 吉川：せつない恋は人に人生を教えます。恋せよ京大生。
直感を信じる	83	58	内田：直感派が多数です。 平石：京大生は論理派が多いかと思ってました。 吉川：直感は早い。論理は遅い。何事も緩急が大事。
甘える	64	52	内田：日本人は甘えるという研究があります。 吉川：甘える人から甘えられる人に。
ケチ	69	51	内田：割と自分はケチだと認識している人が多いです。でも周りの人についてはそれほどケチではないと予測しているようです。おごってもらうことの方が多いのでしょうか？
幸せ	82	52	内田：京大生は幸せなようです。周りに幸せな人は50%、としているところも興味深いです（つまり自分は平均より幸せと感じている人が多い）。 平石：良いことです。
美男・美女	7	17	内田：自分でいえる人はごくわずかですね。アメリカではもっと多いと思います。 平石：「モテる」のと同人物か！？（パーセンテージがまったく同じ）
よく笑う	80	61	吉川：笑う角には本当に福がきます。
よく泣く	32	43	吉川：悲しいときにはしっかり悲しむ。
愛されている	82	52	内田：何よりです。 平石：何よりです。 吉川：何よりです。
長生きしたい	58	66	
決まりをまもる	77	59	内田：他人より自分は倫理的だと思っているようです。 平石：自転車のライトはつけて下さい。 吉川：その決まりはなぜ決まりになったのか？を考えてみることも大切。
悲観的	58	52	
素直	54	49	



質問	実際%	予測%	コメント
ナルシスト	26	23	平石：森見小説の主人公は少数派か。 吉川：自分のいいところがしっかり意識できると、自分の幹が太くなります。育てるのも自分です。真のナルシストはナルシストに見えない。
親友がいる	79	62	平石：うらやましい。 内田：大学時代の友人はその後も関係が続くことが多いです。 吉川：気持ちが分かり合える。厳しいことを言い合える。それが親友の良さですね。
社交的	37	51	平石：もうちょっとがんばりましょう。 内田：社交は苦手なようですね。 吉川：社交は楽しく生きる第一歩。とにかくやってみると何かが変わります。
強い	31	35	平石：思ったより弱い。 内田：くじけやすい？それとも力が弱い？強さの定義は人それぞれですね。 吉川：やさしく繊細だけれど強い。そんな性格は、年月をかけて作られます。
ほれっぼい	44	45	
子供好き	64	58	平石：けっこう子供好き。
一目置かれる	30	29	
勉強好き	50	25	内田：周りよりは勉強が好きと思っているようですが。 吉川：自分なりの勉強の習慣を身につけるといいのかも。好きでも好きでなくても、一生勉強は続きますから。
疑い深い	72	48	内田：疑うところから学問の発展があるかもしれないですね。 吉川：何を疑うか、に個性がでます。人への不信も、探究心の根っこにあるのも、疑う気持ち。
共同作業好き	53	55	
面倒見よい	53	50	
大胆	40	38	吉川：4割の人が大胆な社会は悪くないかもしれません。
楽観的	53	48	
几帳面	47	50	吉川：イギリスの大学の研究室にいたとき、研究者の中に日本で会うような「几帳面な人」が少ないなと思った記憶があります。文化的な要因と関係する特性かも。どうでしょうね、内田さん？



質問	実際%	予測%	コメント
お人好し	64	53	内田：周りよりお人好しと感じている人が多いみたいですが、これは「ケチ」の回答とは不一致ですね。お金は周りより出さないけれど、情には周りよりもろい、と感じている人が多いのでしょうか？